

令和 6 年度 施策評価表

施策	0503	医療体制の充実	施策担当部	福祉保健部	部長	吉村 武史
			施策担当課	国保けんこう課	課長	三谷 浩
施策の方針	救急医療体制の充実を図るとともに、医療機関との連携を強化する。また、地域の中核病院である市民病院について、ニーズに沿った医療サービスの向上及び提供に努める。					
関連するSDGsのゴール	3 すべての人に健康と福祉を  11 住み続けられるまちづくりを  17 パートナーシップで目標を達成しよう 					

【ＤＯ（実施）】

後期基本計画（令和３年度～令和７年度）における数値目標

指標名		単位	基準値 (R 1)	R 3目標値	R 4目標値	R 5目標値	R 6目標値	R 7目標値	R 5年度	
				R 3実績値	R 4実績値	R 5実績値	R 6実績値	R 7実績値	達成率	進捗率
①	休日・夜間における外来患者数 (休日当番医、夜間初期診療センターの年間受診者数)	人／年	10, 114	10, 300 5, 334	10, 350 7, 690	10, 400 8, 891	10, 450	10, 500	85. 5%	84. 7%
②	市民病院の病床稼働率	%	90. 0	90. 0 83. 0	90. 0 80. 9	90. 0 87. 8	90. 0	90. 0	97. 6%	97. 6%
③										
④										
⑤										

施策達成状況の説明

①休日当番医の受診者数はコロナ渦前より増加しているが、夜間初期診療センターの受診者数はコロナ渦前の半分以下の状態が続いている。
②医師会や関係医療機関との連携強化等に取り組み、病床稼働率は前年度と比較して大きく上昇したものの、令和6年1月以降の心臓血管外科体制変更の影響もあり、目標値を下回った。

施策経費

(単位：千円)		R 5年度 決算	R 6年度 予算	R 7年度 見込	特記事項
内訳	事業費	889, 830	854, 739	777, 517	
	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	580	580	580	
	地方債	0	0	0	
	その他	144, 441	158, 967	168, 690	
	一般財源	744, 809	695, 192	608, 247	
	人件費	21, 406	21, 135	—	
フルコスト		911, 236	875, 874	—	

施策の概要（細施策）

050301	安心して受診できる体制づくり	休日や夜間に市民が安心して医療機関を受診できるよう、大村市夜間初期診療センター、民間医療機関、市立大村市民病院及び国立病院機構長崎医療センターとの連携を図ります。 また、日頃から安心して受診できる身近な「かかりつけ医」の普及促進に努めます。
050302	市民病院の機能充実	地域医療の中核病院として、安定した経営基盤のもと医療サービスの向上を図ります。 また、診療所等からの患者の紹介や逆紹介など、患者が適切な医療を受けられるよう、市内をはじめとする他の医療機関との連携を強化します。 さらに、患者の症状やニーズに応じて、地域包括ケア病床や回復期リハビリテーション病床の入院状況を調整するベッドコントロールや、リハビリテーションの充実など、医療機能の充実を図ります。

【CHECK（評価）施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

休日当番医の受診状況は、コロナ禍前の状況に回復した令和4年度よりさらに増加している。夜間初期診療センターについては、令和4年度より増加し、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えのため大きく減少した令和2年度を上回る人数だった。必要な人の受診が阻害されることがないよう引き続き、関係機関と連携を図る必要がある。

市立大村市民病院については、引き続き2次医療機関として地域医療の中核を担う必要があることから、医師の確保や医療提供体制の充実など、更なる経営の安定化及び強化に努めていく必要がある。

【ACTION（改善・改革）】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

夜間初期診療センターの初期救急としての適正な受診を確保するため引き続き周知に努め、二次・三次救急との連携を図っていく。

令和7年度新規事業

事業名	担当課	令和7年度見込	対象・事業概要など
		事業費（千円）	
1			
2			
3			
4			
5			
		0	